

第4章

練馬区の魅力を楽しめるまちづくり

- | | | | | | |
|----|--------------------------|-----|----|-----------------------------|-----|
| 41 | 地域特性を活かした
区内企業の活性化 …… | 172 | 45 | 地域活動の活性化と
多文化共生社会の実現 …… | 188 |
| 42 | 魅力ある商店街づくり …… | 179 | 46 | 文化・生涯学習・
スポーツの振興 …… | 194 |
| 43 | 都市農業の振興と
都市農地の保全 …… | 180 | 47 | 練馬の魅力づくりと
練馬ならではの観光の推進 … | 205 |
| 44 | みどりの保全と創出 …… | 185 | | | |



区初めての公認陸上競技場「練馬総合運動場公園」

41 地域特性を活かした区内企業の活性化

(1) 練馬区の産業振興施策

●「練馬区産業振興ビジョン」の策定

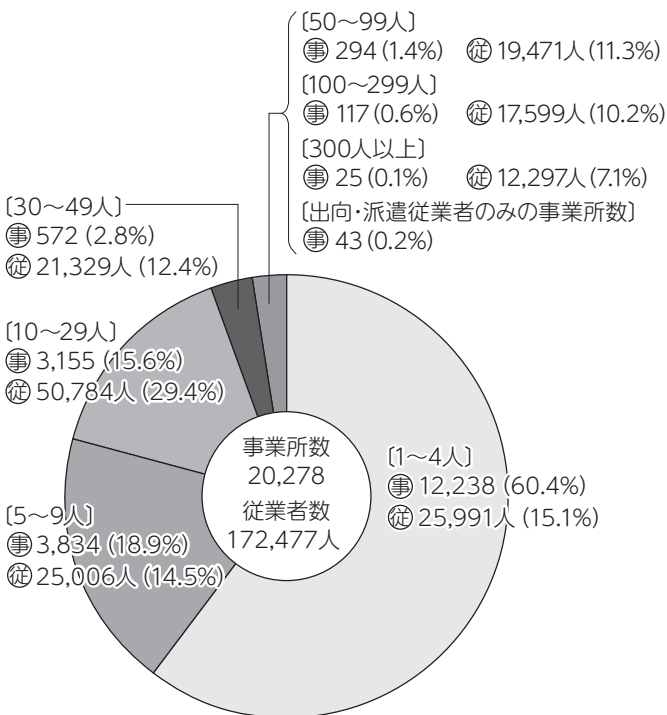
28年3月に策定した「練馬区産業振興ビジョン」では、①福祉・生活関連産業の育成・支援、②都市農業の振興と都市農地の保全の推進、③商店街の新たな魅力づくりへの支援などの取組を強化していくこととしている。

●区の産業構造と特性

区の産業別構成では、卸売業・小売業(21.9%)、医療・福祉業(12.0%)、宿泊業・飲食サービス業(11.8%)、建設業(11.2%)、生活関連サービス業・娯楽業(9.8%)、不動産業・物品賃貸業(9.4%)を合わせると全体の76.1%となり、区民の日常生活に密着・関連した産業が4分の3を占めている。

また、事業規模では、従業者数20人未満の事業所が全体の90.9%を占め、区内産業活動の中心となっている。

〔規模別事業所構成と従業者数〕 28年6月1日現在



注：①〔 〕内の記述は事業所の規模を示す。

②●は事業所数、◎は従業者数の略である。

資料：「平成28年経済センサス活動調査報告」都総務局統計部

〔工場数と従業者数および出荷額〕 29年6月1日現在

産業中分類	工場数	従業者数(人)	出荷額(万円)
食料品	32	943	1,701,292
飲料・飼料等	-	-	-
繊維工業	14	111	91,644
木材・木製品	-	-	-
家具・装備品	9	159	415,528
紙・紙加工品	12	196	384,543
印刷・同関連業	20	324	480,366
化学工業	2	72	非公表
石油・石炭	-	-	-
プラスチック	15	171	223,366
ゴム製品	-	-	-
皮革・同製品	2	17	非公表
窯業・土石	5	67	477,455
鉄鋼業	-	-	-
非鉄金属	3	189	608,627
金属製品	11	141	198,777
はん用機械	4	61	134,404
生産用機械	9	92	120,462
業務用機械	12	133	172,683
電子・デバイス	1	16	非公表
電気機械	10	168	261,743
情報通信機械	3	183	403,997
輸送用機械	4	36	42,629
その他	10	104	159,641
総数	178	3,183	6,731,922

注：①本統計調査は、従業者4人以上の事業所を対象に実施

②総数は非公表の数値を含む。

資料：「平成29年工業統計調査報告」都総務局統計部

●一般社団法人練馬区産業振興公社との連携

(一社)練馬区産業振興公社は、25年4月1日に、区内の産業振興と地域経済の活性化を目指す団体として発足した。(前身である(一社)ねりまファミリーパークを改組、名称変更した。)

26年度には、区民・産業プラザの指定管理者となり、施設の維持運営のほか、中小企業の経営相談から支援までを一体的に行う「練馬ビジネスサポートセンター」の業務を開始した。また、29年度からは、解散した練馬区観光協会の事業を引き継ぎ、観光事業を展開する「ねりま観光センター」を設置した。

区と公社は、産業・観光振興に関する協定を締結し、必要な事業を公社に移管した。互いに連携・補完しながら、区内の産業振興施策を展開している。

30年度の公社の事業内容は、つぎのとおりである。

1 練馬ビジネスサポートセンターの運営

- (1) 起業・創業や経営に係る各種相談事業
- (2) 起業・創業および経営者セミナーの開催
- (3) 経営支援に係る各種補助金の交付
- (4) 販路拡大・集客の支援
- (5) 産業情報の収集および提供

2 区民・産業プラザの維持運営

- (1) 貸出し業務（研修室、ホール等）
- (2) 維持管理

3 勤労者福祉共済事業

中小企業で働く従業員と事業主のために、会員制の福祉共済事業「ねりまファミリーパック事業」を展開している。（詳細は、176 ページ「ねりまファミリーパック」を参照）

4 ねりま観光センターの運営

- (1) 観光振興事業
- (2) 観光案内所運営事業

（詳細は、205 ページ「ねりま観光センターの運営」を参照）

の補助を行った。

●練馬ビジネスサポートセンターによる支援

中小企業の経営支援と起業・創業の支援として、つぎの事業を行っている。

1 総合相談・専門相談

ビジネスマネージャーによる総合相談のほか、起業・創業、法律、労務、販路拡大・集客、経営および税務について各分野の専門家が相談に当たっている。

〔総合相談・専門相談状況〕

（単位：件） 30年度

内 容		件数
総合相談		400
専門相談	起業・創業	272
	法 律	41
	労 務	58
	販路拡大・集客	215
	経 営	73
	税 務	117
出張相談		94
計		1,270

(2) 中小企業の経営を支援する

●産業融資による支援

1 産業融資あっせん事業

区内の中小企業が区内金融機関から低利で融資を受けられるよう、あっせんを行っている。30年度は景気対策特別貸付 671 件、46 億 7,520 万円のほか、地球温暖化等環境対策特別貸付、アニメ産業特別貸付、創業支援特別貸付など 13 種類の融資あっせんを行い、利子の一部を補助した。

〔産業融資状況（業種別）〕

30年度

業種別内訳	貸 付		
	件数 (件)	金額 (万円)	
建設業	621	450,367	
製造業	118	84,787	
運輸・通信業	84	70,598	
卸・小売・飲食業	482	293,893	
内 訳	卸売業	171	137,845
	小売業	192	110,162
	飲食業	119	45,886
サービス業	384	223,057	
その他（不動産業含）	272	163,678	
合 計	1,961	1,286,380	

2 小規模事業者経営改善資金融資（マル経融資）支援事業

日本政策金融公庫のマル経融資利用者に対し、支払った利子の一部を補助している。30年度は、395 件

2 経営指導（企業診断）

中小企業診断士が経営改善等のために指導するもので、30年度は 42 事業所に出向き、指導を行った。

3 事業者支援アドバイザーの派遣

超高齢社会を迎え、福祉・生活関連産業の支援や事業承継の課題に対応するため、事業者支援を行うアドバイザーを派遣している。30年度は 1 件の派遣を行った。

4 合同経営相談会

ビジネスマネージャー、社会保険労務士、中小企業診断士および税理士を一同に集めた事業者向けの相談会を開催している。30年度は 2 回開催し、計 36 件の相談に対応した。

5 経営者向けセミナー

経営力を高めるためのセミナーを、年間を通じて定期的に開催している。30年度は 10 回開催し、計 519 人が受講した。

6 起業・創業セミナー

創業するための基礎的知識やノウハウを学ぶセミナー「創業！ねりま塾」を実施している。30年度に開催した 5 コースは、入門編 213 人、実践編 58 人、女性編 62 人、地域創業編 25 人、子ども編 61 人が受講した。

創業！ねりま塾 ポスター

「創業者の悩み、もっとビジネスにする」
女性のための
「ここから起業」
今開催している、女性だけの起業セミナー。創業のノウハウを学ぶだけでなく、ここからスタート！
【開催日時】9月27日(木) 9月29日(土)
【時間】9:30-16:30
【会場】練馬区民センター 第2プラザ
【参加費】18歳以上の会費で無料に開催するが、会場費は別途必要
【定員】40名(10名単位)
【申込費】3,000円
【申込期】9月18日(水)
【申込先】女性起業支援センター 練馬区民センター 2階プラザ
【お問い合わせ】03-4797-2000 (FAX) 03-4797-1014
【申し込み】03-4797-2000 (FAX) 03-4797-1014
【申し込み】03-4797-2000 (FAX) 03-4797-1014
【申し込み】03-4797-2000 (FAX) 03-4797-1014
【申し込み】03-4797-2000 (FAX) 03-4797-1014

〔創業！ねりま塾 ポスター〕

7 見本市等出展に対する支援

区内の中小企業およびその団体に見本市等に出展する経費の一部を補助している。30年度は13件の補助を行った。

8 ホームページ作成に対する支援

ホームページ未開設の企業等に対し、ホームページ作成費の一部を補助している。30年度は29件の補助を行った。

9 区内事業者等の連携による製品等開発への支援

区内事業者等が連携し取り組む製品・サービス等の開発に係る経費の一部を補助している。30年度は1件の補助を行った。

10 各種認証取得に対する支援

国内外の公共機関等が定めた規格の認証取得を予定している区内の中小企業者に対し、経費の一部を補助している。30年度は2件の補助を行った。

11 商店街空き店舗入居者に対する支援

区内の商店街にある空き店舗に入居し、新たに開店する区内の中小企業者に対し、店舗の内外装改修工事費および賃借料の一部を補助するとともに、経営面のサポートを行っている。30年度は11件の改修費補助、84件の賃借料補助を行った。

12 受発注企業商談会

中小企業の販路開拓を支援するため、5区合同で受発注企業商談会を開催している。30年度は65社の企業が参加し、141件の商談を行った。

〔開催日〕 30年11月8日

〔場 所〕 板橋区立東板橋体育館

〔主 催〕 (一社)練馬区産業振興公社、(公財)板橋区産業振興公社、北区、豊島区、文京区

13 ねりま産業情報紙「neri・made (ネリマデ)」の発行

中小企業の経営者や商店会への産業振興に関する情報提供のため、「neri・made (ネリマデ)」を発行している。30年度は4回発行した。



(neri・made 31年4月号)

14 景況調査の実施

区内中小企業の景況などを四半期ごとに調査し、その結果を中小企業や関係機関に提供している。

●商工業団体との連携強化、各種団体への支援

1 商工業団体への支援

区内の商工業団体が行う事業に対して、補助金を交付するなどの支援を行っている。

2 生鮮食料品共同販売事業への支援

食肉・魚介類の各小売業組合に対し、自主的な共同購入・共通価格の販売を通して、各組合の協業化を促進している。また、健全な経営基盤の強化を図るため、補助金を交付するなどの支援を行っている。30年度は、生鮮食料品全体で2小売業組合、延べ42店舗が参加した。

〔共同販売事業実施内容〕

30年度

品 目	特売日
食肉 (1品目)	6月12日、11月27日
魚介類 (5品目)	12月6～7日

3 家屋修繕等小規模工事あっせん事業の実施

区民の小規模な家屋修繕工事に対する需要に応えるとともに、区内中小建設業者等の振興を図るため、区内事業者団体へ小規模工事のあっせんを行っている。30年度は、291件のあっせんを行った。

4 公衆浴場への支援

公衆浴場の利用喚起および経営の安定を図るため、季節事業、施設設備改善および燃料費に対して補助金を交付するなどの支援を行っている。30年度は、施設設備改善は12浴場、季節事業および燃料費は22浴場に補助を行った。

5 中小企業サポートガイドブックの発行

区内の中小企業者、創業者、勤労者および就職希望者を対象にした、区および区内産業団体等の主な産業振興施策をまとめた「中小企業サポートガイドブック」を毎年発行している。

●中小企業等地域貢献事業補助

区内中小企業等が地域団体等との連携・協働により行う、経済や文化の振興に関する活動や環境を保全する活動など、地域の活性化や地域課題解決に資する活動に必要な経費の一部を補助している。30年度は1件の補助を行った。

●アニメ産業への支援

区内には約100のアニメ制作会社が集積し、日本のアニメを支えている。区は、アニメ産業に対し、さまざまな支援を行っている。

1 アニメ産業振興

(1) アニメコンペティション練馬の開催

アニメ人材の発掘・育成やアニメ文化普及を目的として開催した。

〔募集期間〕 30年11月1日～31年2月8日

〔募集部門〕 ・1分アニメ部門

・キッズアニメ部門

[表彰式] 31年3月17日
 [場所] 区役所20階 交流会場
 [主催] 練馬区
 [共催] (一社)練馬アニメーション

(2) アニメ制作企業等の立地促進

アニメ産業の集積を更に強化するため、アニメ制作関連事業者の区内誘致・創業支援を目的として、移転費・賃料等を支援する補助制度を設けている。

(3) フランス・アヌシー市とのアニメ産業交流

世界最大規模のアニメ映画祭が開催されるフランス・アヌシー市と、21年4月にアニメ産業交流協定を締結した。30年度は、練馬アニメカーニバルでアヌシー国際映画祭に出品された作品を上映した。

2 アニメ文化普及・地域振興

(1) 練馬アニメカーニバル

練馬区ならではのアニメの魅力を区内外に発信するため、毎年開催している。

[開催日] 30年10月20～21日

[場所] 練馬駅北口周辺

[概要] ・ステージプログラム (TVアニメ作品など)
 ・アニメ制作体験ワークショップ
 ・企画展示など

[主催] 練馬アニメカーニバル推進連絡会



[告知ポスター]

(2) アニメ産業と教育の連携事業

区内の小・中学校において、アニメ産業やアニメの表現技法を学習する事業を実施している。30年度は、12校で延べ14授業を実施した。

(3) アニメ情報の発信

① PR冊子「アニメ・イチバンのまち 練馬区」(日本語版 [再改訂版]・英語版・中国語版)の配布

② 練馬アニメーションサイトの運営

③ 練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」によるPR事業

(4) アニメプロジェクト in 大泉

ジャパンアニメーション発祥の地である大泉で毎年開催している。

[開催日] 30年5月20日

[場所] 大泉学園駅北口周辺

[概要] ・キャラクターショー
 ・アニメ作品の上映
 ・セル画体験教室など

[主催] アニメプロジェクト in 大泉推進連絡会

●練馬産業見本市の開催

優れた技術や特徴のある商品など、区内産業の魅力を多くの区民に伝えることを目的として開催している。

[開催日] 30年10月21日

[場所] としまえん屋内館

[来場者] 約20,000人

[概要] 商品やサービスの展示・販売のほか、映像、体験などのブースを事業者が出展

[主催] 練馬区

[共催] (一社)練馬産業連合会、(一社)練馬区産業振興公社

[後援] 経済産業省関東経済産業局、(公財)東京都中小企業振興公社、(地独)東京都立産業技術研究センター、東京商工会議所練馬支部、練馬区商店街連合会、(公社)練馬東法人会、(公社)練馬西法人会、東京あおば農業協同組合、(一社)練馬アニメーション、練馬漬物事業組合、練馬区伝統工芸会

●練馬ビジネスチャンス交流会

事業者同士の交流によるビジネスチャンス拡大の場を提供し、区内産業の活性化を図ることを目的として開催している。

[開催日] 31年3月7日

[場所] 区民・産業プラザ

[参加者] 61者

[概要] グループ交流会・フリー交流会・展示会

[主催] 練馬区

[共催] (一社)練馬区産業振興公社、(一社)練馬産業連合会、東京商工会議所練馬支部、練馬区しんきん協議会

●練馬区伝統工芸展

練馬に生き続ける伝統工芸を地域に広く紹介し、伝統産業の普及と振興を図り、併せて区の文化発展に寄与することを目的として開催している。

[期間] 30年10月26～28日

[場所] 区民・産業プラザ

[来場者] 約3,000人

[概要] 東京手描友禅、東京染小紋、江戸筆等15業種の展示・実演・体験・販売

[主催] 練馬区伝統工芸会

[後援] 練馬区、練馬区教育委員会、(一社)練馬区産業振興公社

●ねりま漬物産物展

練馬の伝統的産物である漬物の展示・販売を通じて、

広く消費者の理解を得るとともに、漬物産業の振興を図ることを目的として開催している。

〔期 間〕 31年2月8～10日

〔場 所〕 区民・産業プラザ

〔来場者〕 約3,000人

〔概 要〕 練馬大根本干したくあん等の漬物の展示・即売

〔主 催〕 練馬漬物事業組合

〔後 援〕 練馬区、(一社)練馬区産業振興公社、(一社)練馬産業連合会

●区民・産業プラザの運営

区内産業の振興、区民の文化活動と相互交流の促進ならびに地域における公益的な活動の支援および協働の推進を図ることを目的として、26年4月に練馬駅北口のCoconeri 3・4階に開設した施設である。

区民・産業プラザには、中小企業の経営支援と起業・創業の支援に取り組む「練馬ビジネスサポートセンター」が設置されている。

〔区民・産業プラザ利用状況〕

30年度

施設名	利用状況	
	利用数(件)	利用者数(人)
Coconeri ホール	592	97,973
産業イベントコーナー	193	—
研修室 1	747	43,084
研修室 2	959	27,778
研修室 3	770	14,291
研修室 4	679	11,065
研修室 5	703	12,187
多目的室1・2	1,299	17,047
産業・観光情報コーナー	—	81,558
計	5,942	304,983

(3) 中小企業の勤労者と就労を支援する

●福利厚生事業への支援

区は、(一社)練馬区産業振興公社への運営補助を通して、区内中小企業等の従業員に対する福利厚生の充実に努めている。

1 ねりまファミリーパック

(一社)練馬区産業振興公社が実施する会員制の福祉共済事業で、中小企業等に勤務する勤労者と事業主を対象として、給付金の支給、遊園地等のチケットあっせん、人間ドック利用補助などを行っている。なお、30年度末の会員数は11,162人である。

2 各種共済制度の周知

国の退職金共済制度などを、会報への掲載やパンフレットの配布などで周知している。

●勤労者への支援

勤労者の労働意欲を高め区内中小企業への定着化を図るため、従業員表彰や労働相談により勤労者を支援している。

また、就労支援については、池袋公共職業安定所(ハローワーク池袋)と連携して、積極的に取り組んでいる。

なお、区内事業所の労働組合は、30年6月末現在で100組合、組合員数20,579人となっている。

1 中小企業等従業員表彰

区内の中小企業における従業員の定着と労働意欲の向上を図るため、永年勤続者を表彰している。30年度は95人を表彰した。

2 労働相談

勤労福祉会館とサンライフ練馬において、社会保険労務士が、労働問題に関する相談を受け付けている。

3 労働講座

社会的に高い関心もたれている労働問題を取り上げ、勤労福祉会館で労働講座を開催している。30年度は、「春闘情勢講座」「労働法」「労務管理実務講習会」の3講座を開催し、延べ162人の参加があった。

4 職業相談・紹介

石神井公園区民交流センター2階にハローワーク池袋との連携により設置している「ワークサポートねりま」では、15歳以上を対象に職業相談・紹介に応じるとともに、求人情報自己検索機による職業情報を提供している。30年度は12,562件の相談があった。

5 就労支援

若年者向けの就職面接会「若年者就職面接会 in 練馬」を31年1月25日に開催した。48人の参加があり、11人の採用が決定した。

6 内職事業所の情報提供

家庭外において就業することが困難な内職希望者に対し、内職求人事業所に関する情報提供を実施している。30年度は、延べ244人に情報提供を行った。

●勤労福祉会館およびサンライフ練馬の運営

1 勤労福祉会館

中小企業に働く勤労者の文化・教養と福祉の向上を図ることを主な目的として、開設した施設である。

30年度は簿記教室、宅建講座などの事業を実施し、延べ5,527人の参加があった。

〔勤労福祉会館利用状況〕

30年度

施設名	利用状況	
	利用数(件)	利用者数(人)
集会室	947	46,397
会議室(小)	767	7,239
会議室(中)	739	13,333
会議室(大)	757	23,213
和室(小)	795	5,682
和室(大)	642	10,844
職業講習室兼会議室	831	11,400
音楽室	888	14,670
料理室	372	4,310
トレーニング室	40,076	40,076
展示コーナー	163	—
囲碁・将棋コーナー	—	5,514
卓球開放	—	163
計	46,977	182,841

2 東京中高年齢労働者福祉センター
(サンライフ練馬)

中高年齢労働者の雇用の促進と福祉の向上を図ることを目的として設置した施設である。

30年度は、ボディーコントロール体操、絵手紙教室などの事業を実施し、延べ1,341人の参加があった。

〔東京中高年齢労働者福祉センター(サンライフ練馬)利用状況〕

30年度

施設名	利用状況	
	利用数(件)	利用者数(人)
体育室	1,438	19,834
トレーニング室	52,567	52,567
和室 第一	565	7,309
和室 第二	522	4,130
会議室	595	8,652
研修室 第一	816	11,384
研修室 第二	656	8,359
クラブ室	432	4,397
職業講習室	498	5,323
職業相談室	532	3,442
計	58,621	125,397

(4) 消費者の自立を支援する

●消費者意識の啓発

1 消費者講座

日々の暮らしの中で、消費者が直面している問題を取り上げ、消費者意識を高めるための学習の機会を提供している。

〔消費者講座〕

30年度

講座名	概要	開催回数	参加者数
消費者講座	身近な消費生活に関する問題を講師の講演や実習により学習する。フリマアプリの安全な利用などを学ぶ講座を実施した。	5回	242人
消費者教室	消費生活センター運営連絡会の自主企画による講座。講演会のほかに料理や実験を交えて学習する。キャッシュレス決済などを学ぶ講座を実施した。	実技形式 4回	89人
		講座形式 6回	164人

2 消費生活展

パネル展示や実演などにより、消費者団体の活動の成果や問題提起を通して、消費者意識の啓発を行っている。

(1) 消費生活展

〔開催日〕 30年6月16～17日

〔場所〕 石神井公園区民交流センター

〔来場者〕 2,795人

〔主催〕 練馬区消費生活展実行委員会、練馬区

〔概要〕 パネル展示、講演会、クイズラリー等

(2) パネル展

〔期間〕 30年10月6～15日

〔場所〕 区役所アトリウム

〔主催〕 練馬区消費生活展実行委員会、練馬区

3 消費者だより

消費生活相談を通じて収集した情報の提供と、消費生活に関する知識の普及による区民の消費生活の安定と向上を図るため、消費者だより「おりずむ」を年6回発行している。30年度の主な内容は、「暮らしの中の防災対策」「広告を見抜く力をつけよう」「海のプラスチックごみ」などであった。

●消費者の安全の確保

1 消費生活相談

消費者が安全で安心な生活を送るために、専門相談員による消費生活相談窓口を開設し、各種相談に応じている。

30年度の相談件数は5,862件であった。総件数の4割(契約・購入金額別件数においては300万円以上の相談の約半数)が60歳以上の相談となっており、高齢者の消費者被害が依然として多い。

消費生活相談ではさまざまな相談に対応しているが、国民生活センターや消費者庁、都、警察、福祉関係部署などとも連携を図り、相談の解決と情報提供に努めている。

〔相談が多かった商品・サービスの種類（上位5位）〕

(単位：件) 30年度

順位	区 分	相談数
1	商品一般	1,197
2	運輸・通信サービス	1,135
3	レンタル・リース・賃貸	375
4	教養娯楽品	360
5	他の役務	321

2 販売事業者等立入検査

「家庭用品品質表示法」および製品安全関連4法(※)に基づき、販売事業者等に対する立入検査を実施し、適正な表示がされた商品を販売しているか確認を行っている。30年度は3事業者、25品目について検査を行い、おおむね適正に表示されていた。

※製品安全関連4法：

「電気用品安全法」、「ガス事業法」、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」、「消費生活用製品安全法」をいう。

●石神井公園区民交流センターの運営

1 石神井公園区民交流センター

区民の文化活動と交流の場の提供、区内産業振興に関する情報発信、職業・就職相談のための場の提供などを目的として設置した施設である。

消費者施策・活動の拠点となる消費生活センターの機能を担うほか、就労支援を行う「ワークサポートねりま」が設置されている。

〔石神井公園区民交流センター利用状況〕 30年度

施設名	利用状況	
	利用数(件)	利用者数(人)
展示室兼集会室	695	39,843
(展示利用)	20	3,802
(集会利用)	675	36,041
大会議室(1)	934	14,028
大会議室(2)	931	13,648
会議室(1)	887	8,685
会議室(2)	801	6,443
会議室(3)	776	8,140
和室(1)	681	4,776
和室(2)	667	3,716
研修室	849	8,745
テスト室	677	6,926
調理実習室	454	7,246
保育室	128	686
計	8,480	122,882

2 消費生活センター

消費生活センターは、区の消費者行政の拠点として、消費生活に関する各種啓発事業を実施している。施設には、消費者の自主的な活動を支援するため、研修室、テスト室、料理実習室、消費者団体活動室を設置している。消費生活相談では、消費者と事業者との契約に関するトラブルなどの相談を専門相談員が受けている。

更に、消費者の参加を積極的に推進するため、区民の自主的参加により組織される運営連絡会と連携して、消費者教室の企画・運営、啓発用パネルの貸出、情報誌の編集などを行っている。